

安全 ニュース

～ 安全はすべてに優先する～

第4号

令和7年12月発行



安全委員会

毎月10日は安全の日

令和7年度 4～11月会員事故状況

注意

傷害事故の分類	件数	賠償事故の分類	件数	車両事故の分類	件数
転倒（就業中）	7	その他の就業中の損壊	3	バック時の確認不足	3
墜落、転落	5	飛散させた物で損壊（刈払機）	1	誤操作	3
飛来、落下	1	器具・用具を接触させて損壊（刈払機）	1	もらい事故	1
蜂、犬、蛇等に刺され、噛まれ	1	運搬・搬出中に損壊	1		
交通事故（道路）	1				
計	15	計	6	計	7

令和7年度の4～11月事故状況です。

傷害事故は、ホース、ドアの敷居、段差、ポール間の鎖に躓いて転倒したり、掃除機の電源コードが足に絡まって、水たまりを避けようとしたところバランスを崩して転倒する等、就業中の「転倒」事故が全体の半数を占める状況です。脚立、三脚からの転落も5件発生しており「転倒・転落・墜落」事故が減りません。危険があることを「意識」することが重要です。また、蜂刺されや、ハンマーナイフモアが跳ねた石に当たってケガをする、交通事故に遭ってケガをする事故も見られます。作業前の確認や作業中注意の意識を高めることにより未然防止を心掛けてください。

賠償事故は、刈払機事故が2件発生しています。ルールを守り注意深く作業をしてください。障子枠を階段にぶつけ破損、カーポート門扉の付け根破損、ケーブル破断、打合せ不十分で過剪定する事故も発生しており十分注意を払ってください。

車両事故は、バック時に車体を車、自転車や埠に接触させる事故が発生しています。普段乗り慣れない車両を扱うことからも、余裕を持った運転で安全確認を行いましょう。

また、運転操作を誤り、車両と衝突、金属ポールに接触、アオリが財物に当たるなどの事故が発生しています。事故を起こさないよう細心の注意を払って運転してください。

安全コラム

近年、就業中の転倒事故が大変増加しています。安全委員として、私たちは「安全は日々の習慣から」と考え、小さな注意の積み重ねが大きな事故を防ぐと訴えています。床の整理整頓や段差の明示、明るい照明の設置など、環境整備は基本です。また、体幹を鍛えるストレッチや片足立ちなどの健康法も転倒予防に効果的です。就業の場では「声かけ運動」を通じて、互いに注意を促す文化づくりを進めていきましょう。安全は一人ひとりの意識と行動で守られるもの。皆で協力し、転倒事故ゼロを目指しましょう。

安全委員 長嶋 忠

事故からの教訓…事例に学ぶ…あなたならどうする

傷 害



■清掃 79歳 女性 顔面/手首/膝の打撲

状況：駐車場の清掃中、ポール間の鎖を跨ごうとした際に転倒し、顔面、左手首、右膝を地面に打ってしまった。

対策：「大丈夫」という油断や、急ぐ気持ち、身体能力過信が見られます。潜んでいる危険を事前に察知する危険予知（KY）を心掛ける。

■残滓処理 63歳 男性 左手首骨折

状況：軽トラックの荷台に乗って残滓を積み終え、踏み台用脚立（3段）を使って、荷台から降りようとしたところ、脚立がぐらつきバランスを崩して転落してしまった。

対策：慣れた作業でも、足元の確認を怠らない等注意を払い落ち着いて行動する。

■就業途上 77歳 男性 肋骨/鎖骨骨折

状況：バイクで帰宅途中、黄色点滅信号を直進していたところ、赤色点滅信号を直進してきた車に左から追突された。

対策：交通事故は被害者として事故に遭うことがあります。交差点では十分に速度を落とし危険予知に努める。

脳トレ！ 数独 チャレンジしてみよう！

	2			3	6		7	4
	4			8			6	9
6		8						
			2			1	6	
3	6			4		8	5	
7	1		6		8			
						2		
8	5			7			4	
2	7		9	1	6			8

- あいているマスに1~9の数字を入れます。
- 3×3のブロック、タテ列、ヨコ列に1~9までの数字が入ります。

問題提供者

緑区第一地域三班 大慈彌 英二 会員
大慈彌会員ありがとうございます。

答→



賠 償



■除草 78歳 男性

状況：刈払機を使用しての作業中に石が飛び、赤信号で停車中のタクシーの助手席窓ガラスを破損させた。けが人は出なかった。

対策：刈払機を使用しても良い場所だったか、防護ネット要員を付けず作業を行うなどルール違反が原因です。ルールを守って就業する。

■植木剪定 78歳 男性

状況：カーポートの門扉（オーバードア）を開けようとしたところ、ロックピンが外れていなかったため、持ち上げた際にアームの根元部分が破損してしまった。

対策：作業前の確認不足と無理な力の行使が原因です。作業前の確認と「固い」「動かない」などの不具合を感じたら直ちに動作を停止し、原因の確認が必要です。

車両



■運転 77歳 男性

状況：就業先に自家用車で向かう途中、丁字路の進行方向を切り替えるためバックしたところ、走行中の自転車と衝突してしまった。

対策：狭い場所、慌ててしまったことなどが原因です。初めての道を運転する場合は、普段よりも落ち着いて運転する。

筋トレ！ 転倒防止！ 毎日続けよう★

③もも上げ

（姿勢の維持や歩行が楽になります）

